



芝 浦 だ よ り

“ふるさと” 芝浦、“母校” 芝浦小学校

校長 濱尾 敏恵

昨年度本校は、創立80周年を迎え、長い歴史の一つの節目をお祝いしました。私は今年度本校に着任して早々、その際作成した創立80周年記念誌『芝浦』を手に入れました。足利時代からこの辺りを芝の浦と呼んでいたこと、芝浦の海岸はとて景色が綺麗で豊かな漁場であったこと、明治のおわりから十数年に及ぶ埋め立て工事によって町が著しく変貌していったことなど、芝浦の町の歴史や移り変わりについて興味深いことが記されていました。また、学校に関しても、戦時中子供たちは、栃木県塩原町に疎開していたこと、大空襲で校舎が全焼してしまったこと、創立70周年時は574名だった児童数が10年間で1200名を超すまでになったことなど、初めて知ることが多々ありました。芝浦に長く住まわれている方が、「これほど変わるとは想像できなかった。」とおっしゃっていましたが、まさしくその通りだと思います。

この記念誌の中には 創立80周年を祝う会会長坂井清様が子供たちに向けて書いてくださったお言葉があります。

『思えば戦後芝浦に生を受けた方々には奇跡の復興を体験し、芝浦のにぎやかな時、その後倉庫群がマンション群に代わりビルが立ち並ぶ風景を見るとき隔世の感があります。芝浦には山も、川も、森もありませんが、芝浦には海があり、港があり、大規模なビルがあり、そして運河があります。ここが皆さんの“ふるさと”です。皆さんが年を重ね昔を振り返った時、いまごろんになっている風景が思い出されると思います。』(一部抜粋)

この文章を拝読し、芝浦の子供たちにとって“ふるさと”の原風景は、どちらかと言うと「♪兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川～」の環境の中で育った自分のそれとは大きく異なることに改めて気付かされました。しかし、芝浦のお仲間に入れていただいて1年目の新参者ではありますが、ビルに反射する夕日の輝き、青空を切るように走る新幹線、夜の運河に映るマンション群の光など、お気に入りの風景を次々と見付け、郷土愛を育てています。

さらに、“ふるさと”の原風景には、景色や建物に限らず、そのときの“体験”や、かかわった“人”も含まれます。今年度になって、町会、商店会の方々におかれましては、万全な感染症対策をとりながら、様々な行事を再開させてくださいました。その中私も、子ども祭りやもちつき会のイベントに参加させていただきました。地域の行事に参加して有意義に感じるということがあります。表情や言動から、顔見知りの心許せる地域の方々に可愛がられている姿を見ることができるといことがあります。表情や言動から、顔見知りの心許せる地域の方々に囲まれ安心して子供たちの様子が伝わってきます。もちつき会では、町会の方々のお手伝いを生き生きと行い、「つきたてです。」と私の席まで来て餅を手渡ししてくれた6年男子がいました。「校長先生に持って行って。」と頼まれたのかもしれませんが、学校では照れくさくてできないこともできてしまう、これこそ地域の力です。

イベントを企画・運営されている町会の方が、「芝浦は人の出入りの激しい地域ではあるけれど、子供たちが大人になって“ふるさと”を想い出したとき、お祭りが楽しかったな、みんなで餅をついたな、と懐かしく語ってもらえるような町にしていきたい。」とおっしゃってました。間違いなく、お餅を持ってきてくれた6年生にとってもちつき大会は、“ふるさと”の原風景の一つに組み込まれたことと思います。

2月20日は、本校の81回目の開校記念日です。“ふるさと”と、切ってもきれない存在である“母校”芝浦小学校。地域の宝でもある子供たちのために無償の愛を注いでくださっておられる方々に応えるためにも、子供と子供、子供と教員の良好な人間関係の中で、日々充実した体験活動を行い、芝浦小学校で学んだことが誇りと思える子供たちの“母校”にしたいと思っています。今年度末で、本校の卒業生は、7448名となります。



町会のもちつき大会

広報・ICTより

広報・ICT委員会

一人一台タブレットの学習が開始して3年目になりました。子供たちも調べもの学習やプレゼンテーションソフトを使った授業など積極的に活用する場面を増えています。便利なタブレットですが、児童一人一人の情報モラルの定着など課題も様々あります。情報教室においても家庭・地域・学校が連携しながら児童を育てていけるようご協力お願い致します。

5年生より～ハッピー班活動～

5年担任

今年度、5年生は様々な場面で3年生と関わる機会を増やしてきました。

音楽会では、お互いの演奏を見合い、メッセージカードを送り合いました。交流が深まっていくにつれて、休み時間なども自分たちから関わろうとする姿が見られるようになりました。これからも、温かい心の交流を通して高学年としての意識を高めさせていきます。

2月の予定

○:学年、<>は何時間目を表します。

1	水	B時程	
2	木	安全指導	○
3	金	朝学習 避難訓練	●
4	土	C時程 土曜授業日 4時間授業	
5	日		
6	月	朝学習 委員会	
7	火	朝学習 研究授業(5の3)	◎
8	水	B時程 家庭科出前授業(5の3)	
9	木	B時程 入学説明会 4時間授業(①・②)	○
10	金	朝学習 家庭科出前授業(5の2、4)	●
11	土	建国記念の日	
12	日		
13	月	朝学習 家庭科出前授業(5の1、5) 心の劇場視聴期間開始(~2月17日・⑥)	
14	火	朝学習 発育測定(⑥)	◎
15	水	B時程 音楽鑑賞教室(④) 4時間授業	
16	木	朝学習	
17	金	朝学習	●
18	土		
19	日		
20	月	全校朝会 開校記念日 保育園交流① 5時間授業	
21	火	B時程 芝浦幼稚園交流①	◎
22	水	B時程	
23	木	天皇誕生日 歌花隊合唱祭	
24	金	集会	●
25	土	C時程 土曜授業日 芝浦小読書の日 4時間授業	
26	日		
27	月	朝学習 クラブ 学校保健委員会	
28	火	朝学習	◎

・スクールカウンセラー来校日 ◎泉森 ○上田 ●河村

今月の目標

- 生活 礼儀正しい行動をしよう
- 保健 外で元気に遊ぼう
- 給食 好き嫌いをしないで食べよう
- 清掃 扉や窓などをきれいにしよう

上手な発音より伝わる発音を

国際科担当

子供たちが英語を話すときによく気にしていることが、「正しい発音で言えているか」ということです。これは、ネイティブスピーカーと同じ発音かどうかということの意味しています。何にでもきっちりとした正しさを求めるのは日本人のもつ傾向ですが、それが発話を躊躇させる要因にもなっています。今は言語学や教授法も多様性を尊重する流れの中で、基本の発音の形はあっても、それぞれ母語の特徴が反映されることは自然なことであり、それを肯定しています。言語は伝えるための道具なので、伝わるのが大事なのです。そのために日本人が意識すべき点は、大事なところを強く、長く、はっきりと発音することです。ネイティブになることはできないですし、なる必要もありません。日本人として英語を学び、堂々と話していけばよいのです。その点を意識して、日々の授業の中で伝えていきます。

これからも子供たちが臆することなく英語を言えるように励ましていきます。

2月・3月分学納金の口座振替について

事務室

令和5年2月10日(金)に、2月・3月分の学納金口座振替を行います。別途まなびポケットにて配信する通知にて金額をご確認いただき、振替日前日までにゆうちょ銀行口座にご準備ください。

今回が今年度最後の口座振替となります。未納が残ってしまいますと、学校口座へのお振込み、または現金をご持参いただく形となりますのでご注意ください。

今年度も学納金の納付につきまして、ご理解とご協力をたまわり、ありがとうございました。

朝ごはん どうして大切?

保健給食部

朝、ぼうっとしている子に多い共通点は、朝ごはんを食べていないことです。朝起きて、ぼうっとしているのは、脳がしっかり働いていないからです。脳が欲しいものは、何だと思えますか?

A ブドウ糖 B リンゴ糖 C ミカン糖

答えは、Aのブドウ糖です。ブドウ糖は、脳や体のエネルギー源です。寝ている間も働いている脳や体には、朝ごはんブドウ糖を補給する必要があります。ブドウ糖は、ご飯やパン、うどんなどの「炭水化物」に多く含まれています。朝ごはんを食べて、元気に過ごせるように、ご協力をお願いいたします。

児童数

1月1日時点

1年生	151人	4年生	148人
2年生	180人	5年生	178人
3年生	141人	6年生	163人

合計 961人



住所: 〒108-0023 東京都港区芝浦4-8-18

電話: 03(3451)4992

FAX: 03(3451)4949

E-mail shibaura-es@minato-kyo.ed.ne.jp

HP http://shibaura-es.minato-kyo.ed.jp/

Twitter https://twitter.com/shibauraes